

18 生分解性マルチの活用

○環境にやさしい資材の活用により労力低減とコスト削減をはかります。

【生分解性マルチの取り組み】

＜生分解性マルチ導入のねらい＞

○収穫後に土中にすき込むため、面倒なマルチ除去の手間が軽減され、**労働時間が短縮される**ことにより、**農地の規模拡大**につながる。

○通常のマルチで発生する**廃棄物処理の手間・費用を省く**ことができ
＜ポリマルチと生分解性マルチのコスト比較(例：とうもろこし)＞
(単位：円/10a)

	使用本数	資材費	回収作業費等	処分費	合計
ポリマルチ	3.5本	6,370	14,454	1,300	22,124
生分解性マルチ		19,460			19,460

※使用本数 200m、回収作業費は作物別作業時間と単価(農水省)で試算

※処理費は 50 円/kg で試算

【ABA資料より抜粋】

＜生分解性マルチに適している作物＞

作物	特徴
トウモロコシ	面倒なマルチ剥ぎ取り作業が省けます。
サトイモ	マルチを剥がなくても土寄せができます。
さつまいも	マルチを剥がなくてもツル刈り機や収穫機が使用できます。
エダマメ	マルチ切れや絡みを気にせず収穫できます。

＜本会取扱実績＞

H29年度	H30年度	R01年度
6,000本	5,000本	6,000本

＜今後の取り組み＞

○生分解性マルチの導入により、トータルコストの低減をはかることは可能であるものの、生分解性マルチ自体の価格が高いため、産地にて導入に至らないケースが多い。
○栽培試験用マルチの提供等を通じて、生分解性マルチの性能確認を実施し取扱い拡大に取り組む。



マルチ除去不要



鋤き込み前

鋤き込み後

天然物系 農業用生分解性マルチフィルム

きえ太郎Z

環境にやさしい省力化資材

きえ太郎Zのおすすめ3大ポイント

- 1 薄くて丈夫! **機械作業が可能!!**
- 2 土中に鋤き込むので剥ぎ取りが不要! **作業省力化!!**
- 3 土中で水と炭酸ガスに分解! **自然にやさしい!!**